

福岡県西瀬戸内臨海・苅田地区産炭地域小水系 工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

西瀬戸内臨海工業用水道事業及び産炭地域小水系工業用水道事業は、西瀬戸内経済圏の工業拠点として、国際貿易港である苅田港に隣接して造成された工業団地等に対し、工業用水の安定供給を目的として開始された事業である。

○事業の経緯

①西瀬戸内臨海工業用水道事業

行橋市を貫流とする今川（二級河川）を水源として昭和16年に着手し、昭和26年4月に一部給水を開始した苅田地方用水事業を前身とする。

その後、西瀬戸内振興に伴う苅田町地先1号埋立地を中心とした苅田臨海工業地帯への大規模な企業進出に対応するため、昭和38年度から抜本的な拡張改良に着手し、現工業用水道として完成したもので、昭和43年4月から給水を開始している。

②苅田地区産炭地域小水系工業用水道事業

産炭地域の振興対策の一環として、今川上流田川郡添田町に位置する油木ダムを水源として、苅田町小波瀬臨海工業地帯を中心とした地域への給水を目的として計画されたもので、昭和52年4月から給水を開始している。

○工業用水道施設の概要

①西瀬戸内臨海工業用水道事業

この事業は、今川に水源を求め、行橋市大字大橋に最大取水量1日65,000m³の今川取水堰を設け、これから取水した用水を苅田町二崎の浄水場に導水し、浄水処理の上、苅田町南原の配水池に送水、そのうち15,000m³/日は渇水期に備えて、殿川ダム（有効貯水量1,150,000m³）に貯水し、残りの50,000m³/日を企業に対し、給水するもので、現在17社に給水を行っている。

②苅田地区産炭地域小水系工業用水道事業

この事業は、産炭地域振興対策及び今川総合開発事業の一環として油木ダムを水源とし、苅田臨海工業地帯に立地する企業に対し、25,000m³/日の工業用水を供給するもので、現在3社に給水を行っている。

○需用者の概要

①西瀬戸内臨海工業用水道事業

(平成20年3月末現在)

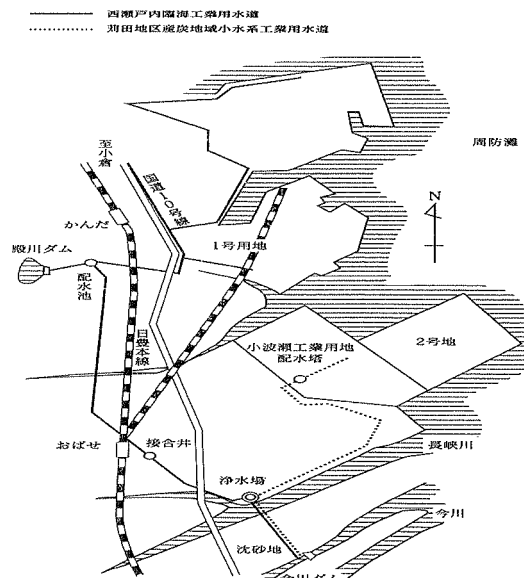
業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
金属	2	1,120
セメント	3	13,000
鉄鋼	1	400
生コンクリート	2	250
機械	2	700
窯業	2	2,920
電気	1	2,600
ゴム	1	300
プラスチック	1	130
その他	3	940
	18	22,360

②苅田地区産炭地域小水系工業用水道事業

(平成20年3月末現在)

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
自動車	1	7,200
生コンクリート	1	100
その他	1	100
	3	7,400

○工業用水道給水区域図



○事業の特徴

- ・ 渇水期に備え、殿川ダム（有効貯水量1,150,000m³）を設置して工業用水の安定供給を図っている。
- ・ 当該地域は本県が推進している「北部九州自動車150

万台生産拠点構想」の中心となるところで自動車関連企業を始めとする産業の集積が図られ、福岡県北部の産業を支える重要な拠点として、今後の発展が期待されている地域である。